



ヤマハニュース No. 7

YAMAHA NEWS No. 7





ヤマハニュース No. 7

目 次

- 社長挨拶…………… 1
- YA-5の全貌…………… 2
- 〈海外旅行記〉
- 東南アジア紀行…………… 4
- 〈セールス教室〉
- セールス・ポイントの生かしかた… 8
- 〈カラーページ〉
- 明るい光…………… 10
- ヤマハサロン…………… 12
- 〈ユーザー訪問〉
- 山西信之助さん…………… 13
- 二輪自動車の話題…………… 14
- 〈ヤマハ風土記〉
- 三重県・岐阜県の巻…………… 17





自信をもって世に問う

永い間の技術陣の研究が実を結んで四月よりY A 5一二五が発売され目覚ましい実績をあげつつあります。

Y A 3型から約三年半ぶりのモデルチェンジですからその間実に慎重なテストにテストを重ね概ね完全なものに仕上げたつもりです。

私も今度の新車については、大きな期待をかけて自分で確信のもつてる車が出来るまでは、乗用車には一切乗るまいと決心し本年一月からキーを相佐専務に預けて、Y A 5型と取組みました。

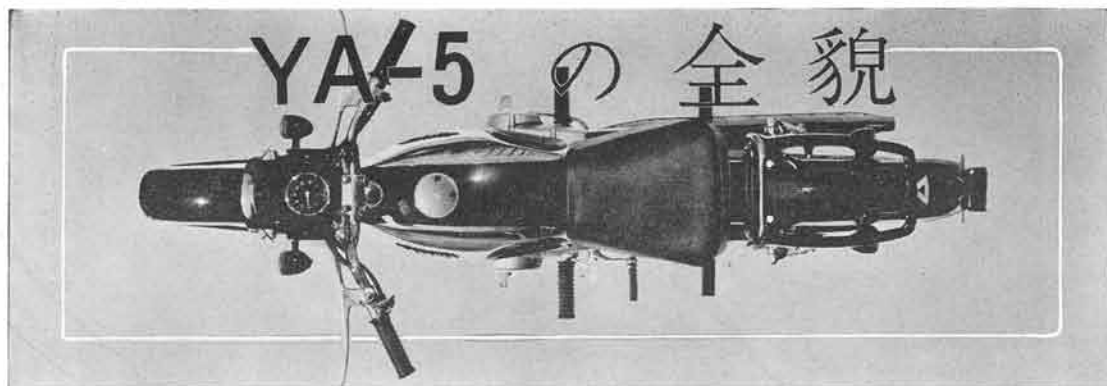
Y A 5型の製作の主眼を上げますと「ロータリーバルブを採用して、単気筒で二気筒の性能を上廻る車を作る」ということです。

又、生産につきましては市況の推移を十分考慮に入れながらすすむ方針ですが、お蔭で全国各地の評判もよいようですし、期的にもタイミングがよく、すでに月産六千台の線に達しております。

重ねて、最後に申し上げますが、Y A 5型は今迄の貴重な経験を最大限に生かしなおそれに新しい技術をプラスして生れた「故障のない実用車で、しかも高性能を誇る一二五の決定版」であることを、特に強調いたしておきます。

ヤマハ発動機株式会社

社長 川 上 源 一



YA5の発売について

業務部長 溝渕 忠次

日頃は格別の御支援と御愛顧を賜り心から厚く御礼申し上げます。

漸くシーズンに入り毎日御繁忙の御事と存じます。会社も漸く待望のYA5型の発売に入り、一層の御支援を心から御願ひ申し上げます。

扱本年の二輪車業界は昨年にも増して一層競争の激しい年になりそうです。

そこで、この競争の激しい世界で正しい販売を遂行する為今迄以上に堅実着実を旨とした販売を進めてゆきたいと念願しております。

幸い皆様の御支援によりしっかりした販売網・サービス網を確立して頂きましたので、ヤマハ研究所並に工場の貴重な努力の成果を販売網に直結し、一貫した理念のもとに堅実にして着実なる販売努力の累積を計り、今後益々けわしさを増す本業界に永遠に続く栄光への道を一段一段踏みしめて開拓して行き度いと考えます。

現在発売中のYA5型は、一口に言って派手な車ではありませんが、乗ってみれば、あらゆる点で御客様に心から喜んで頂ける車であると信じております。

加速、最高速、登坂力といった点はもとよりですが、ブレーキの利き味、悪路の操縦性、安定性といった地味な面のす

ばらしさは、御客様に長い間御愛乗願える車を製造するというヤマハの信条を充分に表現する事が出来たと思っております。

燃費も非常によくなり、車全体の耐久性も一段と進歩しておりますので、第二種バイクに特に必要とされる下取価格迄含めた全体の経済性という点に於ては、充分御満足頂ける事と思えます。

ロータリーバルブ・スターター付キャブレター等の数多くの新機構と長所は既に皆様充分御研究の事と思えます。

どうか地道に着実に、一日一日とヤマハの販売を伸ばして頂きますよう心から御願ひ申し上げます。

貴店の一層の御発展を御祈り申し上げますと共に、ヤマハ全車種の御拡売と御支援を心から御願ひ申し上げます。

試乗の印象

出席者

- 三輪 靖二 (21才) 日大工学部
- 山田 浩 (19才) 日大工学部
- 杉山 (オートバイ編集部員)

すぐれた操縦性、実用燃費の向上

杉山 最初の印象はどうでした。スタイルなど……。

山田 前の方から見てね、クッションとダウン・チューブのあたり、それから、ヘッドランプのメーター附近、ハンドルまわりを見たときは新しい感じですね。

三輪 あきのこない、いいスタイルです。山田 一番はじめに見て、フロントがボトム・リンクでないんで、これなら九州へでも、何処へでもいけると思いました。が、ハンドルを握った感じは、YCにのっていたせいしかモベットのようで、車重も軽くオートバイという感じがしなかった。しかし、手はじめて浜名湖を一周して、その考えがひっくり返された。実によく走ります。加速もすばらしい、振動が少なく、乗心地も非常にいい。

杉山 たしかにカタチの上から受ける感じと、実際に乗った感じとは違いますが、YA5型の場合は少し乗り馴れてみないとその性能が掴めない、ということろがありますね。浜名湖を一周してみ

の実感ですが……。

三輪 フロントがテレスコープになり、操縦性・安定性は非常によいですね。

杉山 最高速はどの位でしたか。

山田 大きな声ではいえませんが、山口と宇部の間にある良好な二級国道で150km/hをマークしました。はじめは8000rpm位で走っていたんですが、あとからきた車がえらい勢いで抜いていったので

す。そこで追いかけて、105km/hでびたりついたんです。このときはまだ姿勢をかえてなかったもので伸びなかったんで

すが、あの小さな風防にかくれるように
思いきり前屈し、ほとんど前がみえるか
見えないかでした。そして、スー
ツと車を抜くことができ、そのときが、
120 km/h だったんよ。

杉山 どのくらいでるかはテストしな
かったのでわかりませんが、定地試験の結
果では 102 km/h をマークしています。

三輪 80 km/h まではサードでもマーク
しますが、このあたりでは指針のふれは
まったくありませんでした。

杉山 それで燃費のほうはどうでした。
山田 これが驚いたことに 2000 何キロ
を走りまして、約 70 リッターしか使っ
ていないのです。ですからリッター当り 51
キロということになります。これが、と
ばしたり、停ったり、最高速、加速、登
坂など、いろいろの走り方をしての結果
ですから、非常な好成绩といえます。

三輪 カタログには実用燃費 28 km/h と
なっていますが、ぼくらの場合は燃費に
ついては何ら気を配らないで走ったん
です。

杉山 この YA5 型においては 40 km/h
中心とした常用速度において非常に燃費
率がいい。ロータリーバルブの効用とい
うところですね。吹き返しが減少され、
低速性能の向上ということが、この 20
km/h のデータをだしたものと比べてよ
いでしょう。ロータリーバルブ付といっ
ても、実際にロータリーバルブがどうの
こうのというものではありませんが、た

しかに燃費はよくなった。これは量でひ
とめでわかるんですから絶対ですよ。

スローの効くこと、優れた加速性
少ない振動、ロータリー変速

山田 単気筒としては力がありますね。

それとロータリーバルブ採用により、低
速性能はすごくよくなった。サードでは
無理かなというところでも、トップでゆ
うゆうと登っていく。

杉山 トップスローは 25 km/h までお
とせまじし、ノン・スナッチの回転も非
常にスムーズです。ローにおとせば歩い
ているくらいのスピードでも回転は乱れ
ない。

三輪 力のあることは出足の強さ、登坂
力のよいことで実証されます。250 cc の車
にも楽についていきますね。これは常に
ギヤ・チェンジして、回転をあげてとい
うことなく……。したがって気分的にも
楽ですよ。

三輪 シングル・エンジンですが、ツイ
ンにおとらぬ性能をもっていますよ。こ
の YA5 は……。

杉山 それは確かですね。振動も非常に
少ないですよ。

杉山 ギヤ・チェンジについてはどうで
すか。ヤマハとしては初めてのロータリ
ー式となりましたが……。

山田 チェンジ・ペダルは、シーソー式
となり、前後とも踏みやすい位置にあり
ます。

杉山 ギヤ・レレションもよくつながっ

ていましたね。

三輪 タッチもよかった。

山田 ノン・クラッチでも気持よく入る
ロータリー式高速はゴー・ストップの多
い都会地を走るには便利です。

強力なブレーキ、明るいライト
満足な性能

山田 車が高速化されていることから
ブレーキも強力になっています。効きが鋭
いということだけでなく、中指一本で
思うままに操作できるということです。
リアの足は、鈍感ですから、いままでの
ものにくらべてとびぬけてよいとは思わ
なかったけれど、フロントは非常にいい
ですね。

三輪 ブレーキは確かに強力で、その効
き味は満足すべきものといえます。

杉山 とくに YA5 型においては瞬間的
に効くのではなくロックするまでの微妙
な操作ができるということで、これは大
いに結構なことですよ。

三輪 前後輪同時に急ブレーキをかけま
したが、サイド・スリップする傾向はあ
りませんでした。

山田 第一日目の走行は雨の日だったん
ですが、ブレーキに水が入って効きが鈍
るといこともなかった。

三輪 ライトが勿体ないほど明るく、夜
間走行も楽だった。

山田 ビームの広がりもよく、まず満足
すべきものでした。またかなりの悪路を
走ったり、高速でとばしましたが、電球

類はひとつも故障がありませんでした。

山田 ニュートラおよびフラッシュャー、
チャーシのパイロットは、よく見えまし
た。また速度計は非常に見やすい位置に
あります。

杉山 これで、YA1 のようにスポーツ
の面にも使えるでしょうか。

三輪 ス克蘭ブルはいいでしょうね。

山田 力もあるし車体の安定もよくスロ
ーが効きますからね。使いようによつて
は、相当のところまでいけるとおもっ
よ。

三輪 実にかからぬ車といえます
ね。2500 キロの走行で手をつけたとこ
ろは、有明海のフェリーポートの上で、
手もちぶさたなもんでプラグを外した、
たったそれだけでした。

山田 こんどの試乗で、YA5 にひきつ
けられた点ですけれどね。スローが効くこ
とと燃料を食わんこと、エンジンが静かな
こと、振動がないこと、それからライト
が明るく、ぼくには乗車の具合がびつた
りだったということです。

(オートバイ六月号より抜粋)



東南アジア紀行

東京販売所

新山武志



はじめに

今度社用でシンガポール、クアランパール、バンコック、香港に行く機会を得て、去る十二月二十三日帰国したが初めての海外旅行の感じやら、見聞（といっても外国語の全然出来ない私には主に「見」であるが）を綴って見た。

出発

現地ディーラーのサービス指導を目的に一ヵ月位の予定で、行って欲しい旨連絡を受けたのは十月三十日。丁度、三宅課長（日本楽器輸出課長）が東南アジアを訪問中とのことなので、シンガポールで落ち会える様、十一月二十日出発を目標に色々準備を進める。たった二十日間の忙しい準備期間に、バスポート・ビザの入手、外貨買取り等の為、再三上京しなければならぬ。困ったのは行先きの気

候が判らず、二〇日に制限される荷物の大部分を占める着替えの用意であるが、これは色々の人の話を総合して気温最低5度迄を予想し準備した。それから外国語の全然出来ない私は、英語の勉強もしなければならなかったが、多忙で然も短い期間に覚えられる筈もなく、その方はあきらめて専ら日本語の普及に努める覚悟を決め「私は英語が判りません。」

「貴方は日本語を話せますか？」というだけの英語を覚え、十一月二十二日午後五時シンガポール向け羽田を出発した。

香港一泊

羽田からシンガポール迄直道の飛行機はなく、二十二日はパンアメリカンのジェット機で香港迄行き、その日はシンガポールへの便がない為、香港へ一泊、ジェット機はさすがに時代の寵児という感じで東京香港間を約四時間で飛び香港時間八時に到着。（一時間の時差があり日本時間は九時）これは東京・浜松間の急行列車より一寸早い。従って機内でパンコック迄行くというある商社の人と隣席したせいもあって、外国の土地に降りたという感じが全然しない。但し、間もなく空港から街へ出る為の入国許可を受け、夏の官服を着た威厳のある移民局官の前に、一列に並んで立たされた時にはやはり「外国」といった感じがした。

空港を出ると予約していたホテルの運転手が迎えに来ていて、少し日本語が判

るので気楽になる。香港は水が少いせいにか時間給水制で、うっかり時間を外したら、熱いお湯だけ出て来て水が出なかった。

英会話集を引っぱり出し、翌朝六時半に起こして貰うことをボーイに頼み、寝に就く。

シンガポール

翌二十三日香港からBOACのジェット機でシンガポールへ向う。ここも同じく飛行四時間位で、又もジェット関係の日本人と隣席。少しも退屈しない。午後一時シンガポールに着陸。（時差が日本と丁度一・五時間あり、日本時間で午後二時半である。北緯三十六度の日本から始んど赤道直下迄、実飛行僅か八時間である。地図をひろげながら本当にここ迄来たのだからかと思う位で東京・仙台の方がよっぽど遠く感じられる。）

外の景色は椰子の木や、喬木がたくさん見えさすがに南国らしい。陽も強く眩しい。エアコンデションの完全な機内から一歩外に出たとたん、熱風にさらされ頭が少しポットとなる。これでは先きが思いやられると、あわてて上着をぬぐ。飛行場へは木下商店の長谷川氏、現地特約店の楊社長、貴営業部長の出迎えを受ける。両氏とも良く日本人と似ており見分けがつかない。ポットとしていたせいもあって人混みの中で自己紹介を受けた長氏がどの人であったか車まで歩く

うちに判らなくなり、一番日本人らしい人に色々話しかけていたら、やや暫くあって「私日本語判りません。」と日本語でやられ楊社長であることを知ってびっくりした。到着早々の失敗である。



木下商店の栗山氏、長谷川氏には滞在、身の廻りや仕事上の一切のお世話を頂いた。聞いて見ると色々の旅行者の空港出迎えや世話等で本業よりも忙しい時が多いとのこと。私の場合は全くお二人文が頼りであった。

飛行場から街まで車で二十分位。英領のせいかさすがに道路が良く大抵の道路の中央には二十センチ程高くなったベルトがあり、加えて交通道徳が非常に良いので(速度違反以外についてはといわね

ばならないが)事故が殆んどない。車は三輪よりも四輪車の方が多い感じで、二輪車の割合はスクーター四、モベット四、オートバイ二、位の感じ、スクーターではランプレッタ、ベスパが圧倒的、モベットはスーパーカブ、ヤマハが多くスズメット、ミヤベット等も見られ、日本製品が九割以上を占めている。オートバイはノートン、トライアンフ、AJS等の英国製五〇〇クラスが多くドリームもよく見る。郊外の制限速度は三五マイル／時らしいが、見通しのきくところではすくなく飛ばす。街へ入る手前でインド人アベックのヤマハモベットを超越す。赤い原色のサリーをひらひらさせながらかなり飛ばしているが、さすがに南国という感じで本当に嬉しくなった。

ここには約二週間滞在したが、英領自治国で自治政府があり、人口一三〇万のうち約八割が華僑とのことで、全くの中国人街という感じ。マレー人やインド人、英国人がたまに見られる程度。街は美しい西欧風の住宅街と中国的な雑然とした商店街、高層のビル街があり工場は町工場の一寸大きい程度のゴム工場を見ただけである。商店の多くは食堂で、夜になると道の両側にずらりと屋台が並びこれ見よがしに鶏肉やソーセージがぶら下がっており、外食をする人が多いせいか仲々の繁盛で、道端のテーブルで賑やかに大勢の人達が食事をしているのは壮観であった。一方四輪車のシヨールム

街は大変近代的で手をのぼして触れて見たくなるようなうまい展示がしてある。

新聞は漢字と英字の二・三の新聞があるが、到着して七日目位に宅三課長との写真入りでニュース記事として載ったがこれは楊社長が新聞記者を呼んで書かせたもので、若いながらこのような商売の上手さには感心した。街には、且つて日本軍が昭南島と命名して三年程占領したことがあるだけに、片言の日本語を話す人が多く、ビルやホテルのエレベーターなどで「君は東京から来ましたか？」と聞かれることが多く、日本の軍歌を歌っているのも随分耳にしたが、少くともここで接した人達は大変親日的で、殊に日本に来たことのある人は日本の工業力に驚嘆しており「もう一度行き度い」とか来たことのない人は、「一生のうち一度は行って見たい」としきりにいっていた。特に、楊社長は二十三才の若さであるが六月に日本に来て、日本婦人と結婚された程、大の親日家で、中国人には珍らしいといわれる程の激しいファイトマン。

「十月からシンガポールでの登録台数はホンダを追い越しベスパ、ランプレッタについて三位となった。あと二年したら販売量を今の二倍にして見せる」と毎日精力的な活動を続けていられた。

ここでの主力商品はモベットであるが小売価格は邦貨換算約七万二千円、月賦は十二〜二十回位迄やっております、約一割高となるが、労働賃金が比較的高く、月

四千四百づつで買えるので将来益々伸びるであろうとのこと。現在は主に小商店の足として自転車に替りつつあり、日本と同じような状態であるが、一般に二輪車に対する認識は日本の五、六年前と同じ程度と見受けられた。これはクアランプールやバンコックでも同じであるが例えば二サイクルエンジンをきらうというのである。理由を聞いて見ると、一番大きな理由として以前に輸入された英国製二サイクルエンジンの故障が多く不人気だったので、今もって二サイクルは駄目だという先入感が強いという。そのくせ二サイクルのベスパやランプレッタが沢山売れていて故障が少く評判が良いのだから、少しは認識を新たにしてくれどもよきそうなものだが、「あれはスクーターだから売れるのであって……」というところでこの為に二サイクルエンジンを見直すという結びつきにはならないらしい。一寸割り切れない感じがしたが、理由は一つ、ガソリンスタンドで既成の混合ガスの販売をやっていないということらしい。客が行ってからその都度混合しなければならぬので厄介なのだろう。二サイクルスクーターやモベッドが多く走っているのに不思議なことだが十軒程ガソリンスタンドを覗いたが、混合油販売をやっていたのは一軒だけであった。二サイクル車が多く走り出して間もない為であろうが、この区域で二サイクル車の輸出振興を計る為にはこういう面

からの啓蒙が必要であろうか。

クアラ Lumpur

シンガポールから国内線飛行機で約一時間。独立国マラヤ連邦の主都で人口約四十万とのこと、敷地に余裕のある建物が多くゆったりして、公園的な感じの場所が多い。ここには五日間滞在したが、経済の実権は華僑が握っているらしく、一寸した店は皆な中国人経営のように見受けられる。



道路はシンガポール同様よく整備されていて緑の広場が多く、あちこちで国技のサッカーを小さな子供から、大人まで皆んな楽しんでいて、人も少く一國の主都とは思えない程静かな街である。この

頃日本の新聞でアチコチにクーデターが起っているのを知ったが、このような記事は東京あたりで読んでも全然ピンと来ないが、ここでは成程と可能性がうなづけるような気がした位である。

それはさておき、ここでは車が少く四輪と二輪車が半々位の感じ。二輪車はモペットよりもオートバイの方が多い。日曜日には遠く送ツリーングを楽しむ人が多く、日本のカミナリ族まがいの人種も多いとか。

ユーザーにも四、五人会ったが、何れも「ヤマハはスピード、加速、安定性など申し分なく耐久性も高いが、二サイクルである為敬遠されるのは気の毒だ。自分の友達にはどしどし紹介します。」と熱をおびた調子で話して呉れた。

うらやましいのは免許制度で、シンガポールも同じであるが、練習場がない為ある年令（二輪車が十六才、四輪車が十八才と聞いたが不確）に達すれば、六百円程度を添え申請すると誰にでも仮免許証を呉れ、車の前後に大きな「L」マークの標板をつけて一搬道路上で運転することが出来る。（四輪車は免許証を持つた人の同乗が必要であるが）ある程度上手くなったところで、簡単な実技試験と口頭試験を通れば免許証が交付されること。実質的には日本の許可制と変わらないように思えた。街中ではL標板付きの車がカーブでフラフラしていると「Lナンバーは何をするか判らない。」とい

って附近の車は皆な停止して待っているほほえましい光景も見受けられた。



バンコック

十二月十三日クアラ Lumpur を出発二時間半程でタイの主都バンコックに着く。上空から見るとバンコックは周りが稲田で日本の都市のような感じ。人口約一〇万とか。仏教が盛んで、寺院が多く黄色い衣を着た僧が多い。道路はアスファルト舗装でうねりが多く、東京より悪い。地方では非舗装路が大部分のこと車はまず目につくのが日本製軽三輪車改造のタクシー、古いオートスチン、モリス等で、新車やオートバイは、あまり見ない。これも経済の実権は華僑が握っているらしくタイ人は農業が多いとのこと。全々訳の判らないタイ文字の看板が目につく。三年間滞在してついに一文字も読めない人もある位とのこと。タイ人は顔立ちなど日本人と良く似ている人が多く温和な感じを受ける。

この特約店サイアムモータースは、日

産、マツダの総代理店も兼ね、国内に七〇軒の副代理店を持つ有力店。ヤマハは最近初めたばかりであるが第一回の入荷MF五〇台は、二日間で完全に売りさばってしまったとのこと。

ここでの苦勞は、二サイクルに対する一般の知識が殆んどなく、作動原理や混合油を何故用いる必要があるか、ということから日本語の日常会話しか出来ない現地人の通訳で手まね足まねを交え説明しなければならなかったことで、混合比の問題にしても二〇対一という表現では駄目で、ガソリン一ℓ（リットル）にオイル五〇cc、二ℓに一〇〇cc、三ℓに：といった調子。それから國王の肖像に例の三年間滞在して一文字も読めないような文字だけで数字の全々入っていない硬貨の使い方、小さい買物をする時は、つかみ出しておいて必要だけ取って貰うという旅慣れぬ悲しさをつくづく味わったことである。

香 港

十二月十七日午後三時バンコック発四時間で香港へ到着するが、一時間の時差がある為、香港時間午後八時到着。税関での携帯品の検査が仲々うるさい。預かって来たおみやげの包装を被いてまで検査される。後で聞くとところによるとバンコックからの便は魔菓のルートがあり特にうるさいとのこと。飛行場へは豊田通商の青木支店長、左氏、永華会社の楊社

長、莫氏の出迎えを頂く。英自治領の香港は、大陸側の九竜と香港島に分かれており、間を十分おき位に往復するフェリーボートがある。飛行場は九竜にあり出迎え頂いたトベットクラウンとフェリーボートで渡る。ボートの行手正面にベロンツ、オメガ、味の素などの大きなネオンが沢山見える。

三時間前迄は半袖一枚で汗をかきながら過ごして来ただけに夜風が快い。気温は一八℃位か。日本迄ここから一飛びかと思ったら急に疲れが出て来た。

翌十八日は丁度日曜日。暑い方から寒い方への温度変化に対しては順応性が悪い為か、風邪を引いたらしい。午後豊田通商の左氏に島内を案内して頂く。前夜は暗くて気がつかなかったが、高層建築が山の頂上まで点々と建っており、さすがに世界の代表的な都市だけのことはある。道路、交通道徳が非常に良く、適当に緑地もあり「都会」といった感じがする。不粋な話だがここでは立小便を見つかっても新聞に出る位であるとか。色々の新聞や本などで、怠惰的な場所であるように聞いていたが、滞在日数も少く表通りだけを歩いたせいも、非常に健康的な都市のように感じられた。車はベンツが多く、スポーツカーも多い。急坂路が多い為モペッドは見られない。この特約店永華公司では、二十日程前のスピードレースにYDSが優勝してから売り易くなった由。新車在庫一台もなく、街を

歩いていると銀色に塗ったヤマハによく出会う。国内でもそうであるが、未知の土地で、ヤマハに出会うと嬉しいものだが、その嬉しさは海外で一層倍強く感じられた。

十二月二十二日最後の予定地香港を予定より二時間遅れ午後九時出発。深夜の羽田に着いた時は生活環境の全々違った中での一ヵ月の旅からの解放感で厄介な税関も気にならず、二十三日も眺方近い午前四時、一ト月ぶりに畳の上での寝に就いた。

雑感

食事は、朝ホテルで洋食、昼と夜は大體中国料理という組合せであったが、朝はどこでも皆な同じようなものばかりで四、五回で飽いて困った。その点中国料理は各地方でも大分違うし、色々の種類があつて米のまじいことを除けば大変楽しかった。中国料理は例の通り大皿に盛つて、各個皿にとって食べるが、二回程家庭料理を共にする機会を得、大家族制度の生んだ合理的な方法であることを知った。(もっとも潔癖感の強い人には一寸イタダケないかも知れないが……)

日本料理はシンガポール、バンコック、香港で一度づつ食べたが、油のきつい料理に慣れた口は、淡泊すぎないさかさかさびしいようなもの足りないような気がした。行った先きでの日本品の進出は目ざま

しいものがあり、ラジオ、オートバイ、自動車、カメラ、楽器、衣料、オモチャ等「安くて悪いもの」から「良くて安いもの」との認識が徐々に高まりつつあるようで、これらのものが多く見られたのは嬉しい。

バンコックでは仏教からの影響か「スワデー」といって口許に両手を合わせ、挨拶、感謝、別れる際行うが、子供や女性の場合には非常に奥ゆかしく感じるが大男の時は一寸異様な感じがした。

デラーのサービスマンの技術については各地共、オートバイ経験二十年とか二十五年とかいうベテランが一人づつ居り、仲々カンの良い、適切で、きれいな仕事を指導していたが、測定器を利用したの判定や修理は始んど行わず、電装品についての知識は始んどないといつて良い位。テスター類の使用法を説明する際は、そういう人よりも若い人の方が積極的であった。

“こぼればなし” 緩行列車は女性？

ケネディ泣かせの国際紛争で、不気味なスポットを浴びているラオスでのお話。汽車は一日一本しか出ずそれも「急行」と「緩行」が、一日交替で発車するという、ノンビリしたある主要都市に、偶々、立ちよつたある日本人が、急行列車の切符を購めたが、所用のため予定が一日狂い、急行を締めて緩行に乗ること

にした。她が、ところがである。

改札口で、乗車を拒否されてしまった。こちとらは、チャント急行列車の切符を持っている。不便をしのんで緩行にしてやるのに、断わるとはケシカランとカンカンに怒つたが、話を通じない。スツタ揉んだした揚句、ようやく分つたことは、この国では、緩行列車の方が、長い時間乗っているんで、急行よりも、料金を余計に戴くということであった。

つまる処、遊園地などの子供電車のようなものである。一寸オイロケ的表現が許されるなら……商売女との、人目をしのお遊びのあれに似ている。

いみじくも、そのお国の名は「ラ・オス」で、メスに關係がないこともない。

緩行の方が料金が高い





セールス・ポイントの生かしかた

経営士 清水 廉

ヤマハ発足の新製品ヤマハ 125Y A-5は、8つのセールスポイントを持っている。せっかくのセールス・ポイント

を生かすにはどうしたらよいか4つの点からのべてみよう。

競争者のしらべをぬかるな

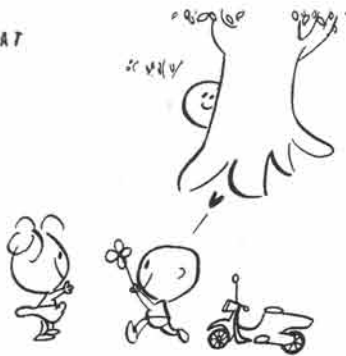
最近孫子の兵法を販売に応用しようとする傾向がふえてきている。この項も孫子流に言うならば「彼を知り己を知れば百たび戦うも殆からず」というところ。『とにかくヤマハオートバイの新車Y A 5の性能はすばらしくいいんですよ』

『他社とくらべてどこがすぐれているんだね』

『……』

これでは、折角のセールス・ポイントも死んでしまう。そこで、8つのセールスポイントならその内容を、他社のものと比較して、馬力の点では何馬力、加速ではこのくらいというふうに、特徴づけしておかなくてはならない。自分のことばかり言っても、興味をひかない。比較するものがあるからこそ自社の製品が生きてくるのである。

KAT



できれば、比較表を作っておくともっと具体的になってくる。「馬力」「加速性能」「スターター構造」「チェンジ・ギヤ」「車輪」「ブレーキ」「デザイン等」「セールスポイント別でよいから一表にして、成程一〇馬力以上といえば他社よりこのくらいすぐれているのか——という実感をもたすことになる。

特に優れている点が馬力であったならただ国内だけでなく、海外との比較をくわしくして「馬力」という点を強調してみせる。『力持ちになった「タンク」を實際にはつきりさせることが、セールス・ポイントを生かすみちなのである。

真実の数字・事柄を具体的に

最大級の言葉はかえって反感を買うものである。「この世に今後絶対にあらわれないすごい車」といったところで「そんなこともあるもんか」と反ってそっぽを向かれてしまう。

馬力が一〇馬力で、従来の六・八馬力よりも三・二馬力ふえています……というところで、現実感が増してくる。セールスは、真実を伝えるテクニクといわれるくらい、真実性のある。販売が必要であるよく訓練されたセールスは決してうそを言わない。真実をいかに相手に訴えるかという努力をしているのである。

車の性能は詳細に発表になるから、その数字を正確にのみこんで、わかりやすく説明してみる。

「今までのより三馬力も馬力がふえました。」

三馬力というと五〇%もふえたことにつまり一・五倍の馬力となったのです」と具体的に説明してあげるとよい。

「スターターが楽になりました」——では具体的にでない。

「スターター付キャブレターを取りつけたので、寒いときでもかかりがよくなりました」——といえば具体性をおびてくる。

このように、セールスポイントを上手につかかって、真実のままの姿を具体的に説明することが必要なのである。

実物をぶっつけて見る

「どうぞ一寸座るだけでものってみて下さい」——と言われれば誰しも親近感が湧ってくる。カタログ片手にくどくどとこのうがきのはてに、最後に——「どうぞ」——ではおそいのである。

先ず実物をぶっつけて、それからゆっ



くりと説明してゆけばよい。「お代は見
てのお帰りに」という田舎しばいではな
いが、ともかくも親しみを持たせなけれ
ばならない。印刷物や言葉よりも、どれ
だけ実物の方が効果的か。すぐれた現物
がセールスマンとなってくれる。



実物に関係して、関係の法規（例えば
新道路交通取締法）は、正確に知ってお
くことが肝心である。免許のとりたては
よく知っていても別に試験がないからう
る覚えになってくる。オートバイは何処
を走ったらよかったのかな——等と急に
きかれても、「第〇条には——」とやれ
れば、オートバイに対する信頼さえ強ま
ってくる。

一回の説明ですべてを語れ

「あっしまった。大事なことを言い忘
れた」ではセールスとして失格。お客さ
まにはいろいろの型の人がいるから、自
分の物差で判断して適当に話をしよる
とダメ。抜かしたところが、案外そのお
客様の気に入った点かも知れないから。

セールス・ポイントをよく覚えておく
ことは勿論であるが、時間が無い時など
全部をいいつくす訓練をする。例えば、
十分でこれとこれ、十五分でこれとこれ
——といったように表にしておいてもれ
なくチェックをしていくようにするとい
い。



「またあると思うところ……」をぬぐい
去って、一回の説明ですべてを語る……
これがつまりムダをはぶきムリをなくし
ムラをなくしムラをとる三ム征伐の一手
段である。

以上、セールス・ポイントの生かしか
たを四つばかりあげてみた。またまた孫
子の兵法ではないが「善く兵を用いる
者」——すなわちよくセールス・ポイン
トを生かす者がセールスの勝利をしめる
のである。

陸の上でも……海の上でも……

アメリカ製エアーカー



エアーカーというのは読んで字の
通り空気で動く車。もう道路を車輪で
走るカーでは流行おくれとばかりに、
海の上でも、陸上でも、直線的に進め
て時間的にロスが
ない。カーといっ
ても勿論車輪はな
い。

である。まだ操縦性は悪く、人の力で
方向を変えなければならぬのが欠
点。実用になるまではまだ相当の時間
が必要なようだ。

第七回東京国際

見本市でなんと
言っても、一番の
話題は、このアメ
リカ製エアーカー
だった。このアメ
リカ製エアーカー
は、名前を「エ
アロモビル」と
いって、アメリカ
のイリノイ州のバ
ーデルセンとい
う田舎医師が、三
年前より実験に入
って完成したもの
で、この性能は二
〇〇馬力で、三〇
センチの浮上力、
最高時速九七キロ





切る車 若い速さ 春の風 車は新車 前進!



明るい光 春の光 若い光 車は新車 出発！ 風

ミスター オトキチ

ヤマハサロン♪ヤマハサロン♪ヤマハサロン♪ヤマハ

彼女へのおくりもの

「結婚祝いに、モベットの指輪を買ってくれと、彼女にせがまれてね」
「それで？」
「勿論、ダイヤの指輪にしたよ」
「どうして？ モベットの指輪の方が利用価値があつて、近代的センスがあるじゃないか」
「君、よく考えてみたまて、モベットに、イミチーシヨンがあるかい！」

習性

音キチに悩まされてる警察が、精神病院の中にオキチの病室を作つて入れることにした。ある新聞記者が、記事をとりに来た。
「はほう、一人も患者はいないのでですね。でも室の割にベット数が多いじゃありませんか」
「いや、満員なんです。つまりいまは車の整備の時間で、皆ベットの下にもぐつて整備しているのです」

どれが一番

或る国道すじの町で、三軒のオートバイの修理屋



が、のきを並べて営業していた。A店が看板に「日本一早く整備する店」と書いた。それをみたB店は「世界一早く……」とほこらしげに書いた。C店はこれを見て考えた。そして看板に次のように書いた
「この町で一番早く……」

子供のちえ

子供「オートバイは、なぜ車が二つなの？」
親「……………」
子供「おとうちゃん知らないの！ 一つだったらハンドルが、つかないじゃないか」

たとえ話

「おい、見ろよ！ イカスじゃないか、あの娘」
「えっ、なんだ、たいしたことないじゃないか、グラマーは流行おくれだよ！ 中古の大型車という所だね」
「それでは、向う側の薬局の娘は」
「うん、一寸いいね！ やけに細身のスラックスはいているな、コンパクトカーという所だね」
「おいおい、奥様のおかえりだ、スクラップ化したトレーラーか……」



オトバヤさん

戸谷 洋

たしか皮肉屋で有名な英国の作家故バーナードショアであったと記憶しているが、人間のおかしな恰好の一つに自転車に乗っている人の姿の事を述べた一文を読んだことがある。彼はいう。人は皆「こんな便利なものはないぜ」というような顔で自転車を飛ばしているが、よく考える心地よく連人でもらっていると信じて使っているの利機？ を人は自分の股の間にわざわざ一生懸命運んでいるのだ。全く自転車坂道なんかをえっさえっさと呼吸を切らして登るのは大変なことだ。その自転車に小さな動力がついて数年、今ではどこへいってもモベット・モベット。街のそば屋の自転車も近頃ではモベットになった。生活のスピード機械化—大いにケッコウ。そのモベットに、両手でハンドルを握るためか、背中に「おぼん」をいつも水平に保つキカイ（背中にあたる側にビニールが張ってあって丁度帆かけ船のようにみえるが）をつけた能率派が出現して来た。「速くなったわね」妻は機械化賛成派だ。お客様が帰りそうになって「今おそばをたのんできますから」皆様もご経験あるはず。少しでも速い方がよい。私は今まで自転車の片手持ちを一種の特技として尊敬していた。

これはつい最近の日曜の午後のこと、家中みんな外出してしまつて私は一人書齋で読書にふけていた。出がけに妻がたのんだのだらう、おそばがどいた。私は台所のドアをあけた。驚いた。革ジャンパーにヘルメットをかぶった男がおそばのオポンをつきだすではないか。私は瞬間おそば屋の小僧が野球でもしてるんで、隣かどこかのオートバイ屋の息子が出前のピンチランナーでやって来たのかと思つた。
「旦那、ちょっとイカスでしょう」
笑っているのはソバヤの小僧。いやはおどろいた世の中も変わったものだ。
私はその日から、おそばやさんのことを二つになる私の孫のように「オトバヤシヤン」と呼んでいる。
私の家の近くは今やオトバヤさんだらけだ。

〈ユーザー訪問〉

ビジネス二分に レジャーが八分



こうなるとオートバイマニアも本格派だ。今回は「ロアー・ヤマハ」静岡支部の顧問をしておられる山西さんに登場していただいた。

静岡で創業八〇年のノレンを誇る木箱屋さんの若旦那、山西信之助さんは三十四才、拓大出身のスポーツマンである。静岡で一番最初にヤマハスポーツを購入したという山西さんは飯より車が？ というほどのオトキチ。

他日、NMC静岡地区ラリーに出場したその姿は——YDSがよく似合う海道筋の親分——といった風格、強きにつよいが、強きにヨワイ、と語るこの人の柔らかな笑顔と、その気持が良い乗りっぷりはさすが顧問の肩書に恥じない。全身でオートバイの楽しさを語っているような山西さんを後日その工場に訪ねたら「ビジネス二分、レジャーが八分ですよ」と笑っていても高出力、高回転、なかなか夢多き青年実業家らしい、精力的な仕事ぶりであった。



↑
トップきりたし、減点こわし、抜くに抜かれぬラリーのつらさ。

←
創業80年のノレンを誇る製箱屋さんの若旦那だが車両販売・衣料月販店への進出も試みる積極性を持っている。



< 随 筆 >

二輪自動車の話題

文と写真 宮本晃男

精神年令のこと

そのころ私は北区西ヶ原町の高台にある家から駒込駅、大和郷、西丸町を経て大塚窪町にある教育大の附属中学校（高師附中）に通学していました。

心身鍛練といっただけなげな志から毎日往復八キロメートルを歩いたわけです。

同級生の渡辺博君が私の宅に近い聖学院女学校正門前から通学していました。

朝など二人の話がはずみ、遅れをとりもどそうと途中から急ぐと汗をかいてくたびれました。

結局二人共自転車を利用することになりました。ところが途中氷川下町近くに猫又坂と呼ぶ急坂があり、下りは元気よく下りますが上りには骨がおれます。

渡辺君はとうとうクリスマスプレゼントにBSAの変速機付の自転車を買ってもらい、私は後部へのせたりして通学したこともありました。

しかし人力で走ることはなかなか骨が折れました。

渡辺君の父上はときおり欧米へ旅行していたようでしたが、とうとう彼にインデアンエースという四シリンダでしかもエンジンをついたオートバイを買ってくれました。今ならヤマハの二五〇cc程度でしょう。車輪がクリーム色で車体がブルーの見るからに動的な美しいオートバイでしたが重いので倒すと起すのに

たいへんでした。

土曜、日曜など夕刻暗くなるころまで点火プラグを清掃したり、クラッチやブレーキを調整したり、当時学校で英語担任の福原麟太郎先生にすすめられて買った三省堂のコンサイス英和辞典をひきながら英文の取扱書を読んでスプロケットチェーンの張りぐあいを調整したりしました。構造を知りたいので大人にないしよで二人でオーバーホールしたこともありました。

アメリカへ注文してタイヤの圧力計を買い、手押しポンプで空気を補給したりしました。

当時はオートバイは自転車なみの取扱いで運転免許もなかったのですが結局事故も全然ありませんでした。今考えると不思議なくらいですが、道がすいていてせいでしょう。



スイス山中のドイツ学生とBMW 500

昨年夏欧米を自動車旅行した折に、ベルギーでは運転免許証がないのを見て、昔のインデアンエースを思い出し、何か日本も面倒くさくなったような感じがありました。



オートバイの相乗り（ハリウッドにて）

ときより母や妻からあなたは精神年令が低い、自動車とかオートバイとか、飛行機や汽車が好きなのは、子供のことでよい年をして未だにオートバイや自動車や飛行機が好きなのは精神年令の低いせいだと笑われますが、もし母がヨーロッパの老人だったらそんな大それた考え方はしないだろうと私は確信しています。

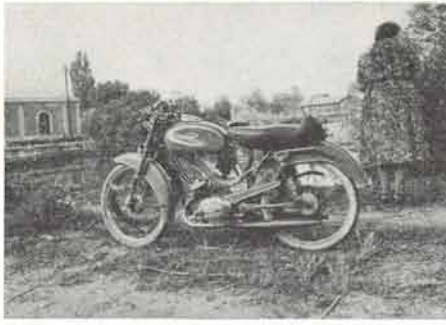
と申しますのは、ヨーロッパの自動車旅行を五、〇〇〇キロほどしましたが、その間にたびたび赤や青のジャンパーとヘルメットに長靴に身をかためたスマートなアベックのライダーに会いました。どんな美しい若い男女だろうかと好奇心

にかられながら一〇〇キロ時以上の快速で追い付き、よくよく見ると若い女同志の相乗りだったり、六〇才前後のおじいさんとおばあさんとの相乗りがめずらしくなかったからです。

アベックといろいろ話し合いながら休けいの後走りだすとけっこう馴れた運転ぶり、さすがに永年経験を積んだ腕前と感服したことも度々ありました。

道路が良いし、誰れも交通規則を良く守るし車の整備が良好なればこそそうなづかれました。

若返り法の一つとして役立っているのでしょう。タンデムシートにちよこんとまたがったうれしそうな老母の姿は今でも忘れられません。



タンデムシートのおバサン (イタリア・ミラノ近郊)

結局当時から乗ったのはインデアン・スカウト、チーフ、ハーレーダビッドソン・ペビーツイン、ビッグツイン、アリエ

ル・スクエア、フォア、BMW・ツワイシリンデル、トライアムフなどで、アリエルとBMWにはヤマハのようなしずかなエンジンがのっていたと思います。

静かで強い理由は

もうだいぶ前の話になりますが、新聞記者が私の動先に来ていうことには、「宮本さん日本楽器の川上若社長が、楽器でだいぶもうかったとみえて、こんど道楽にオートバイをつくったんだそうですが、動くんでしょね」と笑いながら話をしていきました。

当時国産のオートバイやモータースクーターは大きな爆音や騒音こそ国際水準をはるかに越してはいたものの、その耐久性や信頼性はまことに、心細いものが多く、新型審査に集合する試験道路で長時間待っても到着できないようなことがめずらしくなかったのです。

完成したヤマハ号オートバイは乗ってみるとエンジンは静粛であり、変速はしやすく、エンジンの始動も容易で一二五ccのエンジンなどは英国のペロセット号のように片手で軽くペダルを押すと一度でスタートしました。

そして時速百キロほども楽にできました。

外見が動的にも美しく、車体が軽快で自分のからだの一部のように運転できました。

国産オートバイで、しかもオートバイ

の戦後派メーカーがよくもこんなに立派につくったものと驚いたのですが、その後富士登山レースとか浅間火山レースとかアメリカのカタリナ島レースとかいろいろレースでのヤマハ号優勝がめずらしくなくなりました。

ヤマハは、勿論昔からピアノ、オルガン、アコーディオン、ハーモニカなど主として楽器を作っていました、一方精巧な自動工作機械を多数備えてプロペラの製造もしていたわけです。

プロペラは皆さまご承知のように特別精密な作業を必要とされ、でないと振動を起して空中分解の危険があるし、特に飛行中油圧で自由にプロペラのピッチを変える構造はさらに精巧な生産技術を要します。



オーストラダーのオートバイ (イタリア・ミラノ)

自身オートバイを運転する熱心な川上社長と、優秀な各職員とそれからプロペ

ラ生産のための精密工作技術と、楽器製造の音に関する細かい神経とがヤマハ号オートバイの精巧静粛なエンジンや変速機構を生んだ必然性とその当然の結果とが了解されるわけです。

私はロンドンから北へ約三百キロ、リパブルに近いクルーの町にロールスロイス自動車工場を訪ねたことがありますが、その落付いた雰囲気、精巧で手入れの行届いた工作機械、まじめで経験の深い工員の作業ぶり、ていねいそのものの組立作業と検査などは、いずれも自動車の王様といわれるロールスロイスにふさわしいものでしたが、ヤマハ発動機の工場内容も一脈通ずるものがあると思っています。

また2サイクルエンジンの単シリンダは4サイクルエンジンの2シリンダに、2サイクルエンジンの2シリンダは、トヨベツト、ダットサン、プリンスなどの4サイクルシリンダに相当してパランスがよく、しかもトルクがなめらかで、日本のように比較的低速走行が多くても静粛で運転しやすいのは当然のことです。

ことに最近ヤマハが採用したロータリーバルブの新機構は性能の向上と燃料消費量の低減に効果を上げています。

今後、優秀なオートバイ、モベツト、スクーターなどが道幅のせまい日本人の人的ために、広くアジアや欧米人の経済的に便利な足として多数提供されることを期待されます。



アルプスのジュリエ峰を越えるオートバイ (標高 2284m)

ヨーロッパの黒バイ

外国の高速自動車道路を走っていると男ぶりのよい陽やけした元気な警官が楽しそうにオートバイで巡らしているのを見かけます。車の中から子供がみつ



巡回する交通警官 (ロスアンゼルススのハレータビットソン)

ると大よろこびではね上っています。

警官の方でもにこにこ手をふって子供に答えています。ですから子供に大きくなったら何になるか、ときくともちろんオートバイ乗りの警官と答えるのが普通だといひます。

ヨーロッパでは二人一組が通例で、二人が何かでびったりつながれてでもいるように一定の間隔で走っています。

オートルートやオートバーンでは百キロ時以上のスピードがふつうですから私のような田舎者は運転しながらその美しい走りっぷりにみとれてしまいます。

彼らは日本の白バイと異なり速度違反の雷族や、混雑から抜けてついスピードオーバーする車をさがして走るのではなく、故障したり、ガソリンエンジンやタイヤのパンクなどで困っている人がいたら救援して交通のじまにならぬよう、流れを円滑にするのが目的ですから自然と人々に愛されるのでしよう。

私がフランスのフォンテンブローの森を抜けてパリに向けて速度制限のないオートルート(但し四月から九月までは土曜、日曜、祭日に限り制限百キロ時)を走っていると前方の分離帯の向うを二人の警官のトライアムフに護衛されたシトロエンDS 19(タクシーと色だけちがう)が一台走ってきました。

車中の人が見たような顔だと思ったらドゴール大統領でした。

外国では公式のときだけオートバイが

二台つのです。

フランスの白バイ(ヨーロッパはすべて黒塗り)はトライアムフか、BMWですが、これは性能の良い割に入札値段が安いからだとのことでした。パトロールカーはシトロエン、プジョー、ルノー、ドフィンなどがつかわれており例の豆腐屋のラッパのようなペーポー・ペーポー・と鳴る笛を鳴らして走ります。面白い音色に思わず笑い出してしまいます。

ベルギーではハレータビットソンやフォード、オランダではBMWとフォルクスワーゲン、ドイツではBMWとベンツが警察車に使われていました。モベツ

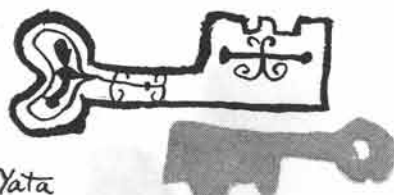


ヨーロッパに最も多い2サイクルモベツ(ソックス号)

トは最近その大部分が2サイクルで前輪タイヤ直接ドライブの原付2サイクルで前輪タイヤ直接ドライブの原付自転車ソックスが全欧に最も多く普及していました。

しかし日本のようにぬかるみの多い道では空転して使えないでしょう。

(筆者は運輸省自動車局勤務、元運輸省航空官、一等航空機整備士、航空機関士)





デーラー巡りも回を重ねること五回になりました。

今まで都市ばかり廻っておりましてので今度は山間にあるデーラーさんの実態も取り入れたいとの意向から、同県内に躍進都市と山国をもつ三重、岐阜両県のお店をお尋ねすることにしました。

丁度所用で名古屋まで出ましたので、まずここを起点として地図と時刻表を見較べてみます。

同県内でもなんとまあ離れていることよ。尤も能率的に短時間に効果をあげるには廻る順序と汽車の時間と迅速な乗り継ぎが大切です。

名古屋を朝五時四十三分の急行に乗って伊賀上野に七時二十九分に着く、ここで約二時間、次が四日市へ亀山乗替えて行くと午後一時〇七分、次は岐阜へ……などと関西本線、東海道線、高山線と時間表の見較べに頭はこんがらかっています。

近頃人気沸騰の推理小説「点と線」の松本清張さんのように正確な時間の計算と推理は出来ません。

とにかく眠い眼をこすりこすり名古屋発五時四十三分湊町行きの混み合う列車に乗り込みました。亀山を過ぎた頃より次第に山間地に入ってきてまいります。約一時間の立ちん棒もやっと座席が空いて座ることが出来ました。向い側に一見都会風のあか抜けした女性が二人座っております。

彼女達は芸能関係の人達ではないかなと直感した通り、NTVの依頼で観光映画「伊賀路」に出演の女優さん達でした。話がはずむうちにすっかり打ちとけて、「伊賀路」のシナリオを取出して見せてくれます。

遠く笠置、高旗、鈴鹿の山なみに囲まれた山紫水明の伊賀盆地、その政治、経済、文化の中心都市。ここを訪れるのは大阪、京都、名古屋から夫々一、二時間、扇の要の位置にあたります……”こんな出初めて伊賀上野市の紹介が始まります。又その昔天下の名築城家とうたわれた藤堂高虎公の支配する城下町として或いは俳聖芭蕉の誕生の地でもあり、映画講談でお馴染みの荒木又右エ門三十六人斬りで有名な鍵屋の辻あり、はた又徳川時代より勇名を馳せたスバイの生産地「忍術の町」でもあるわけです。

大分前置きばかりなりましたがこの辺で上野駅下車しましょう。まことに閑散とした山間の小駅です。駅のホームに大きな立札が出ております。春なれや、名もなき山の朝がすみとあります。

多分おらが芭蕉さんの作った俳句でしょう。

駅前より広々とした畑の中をバスにゆられること十分伊賀上野の街に入ります。人口五万といわれる山間都市です。この市の中心街、東町の一角にお目当ての平野商会さん(伊賀上野市東町)があります。

ます。昔からながく住み馴染んだ由緒あるお家の様子がうかがわれその信用のほどまことに思われます。



お店の奥からドロンと現われたお方は同店の総指揮者である播永信さんです。

まことに、のりの深い顔立てで土地が土地だけにその昔の忍者の親玉、百地三太夫を思わせませす(別に小生、三太夫さんにお目に掛ったわけではないんですが)永信さん(六十二才)のお話をとりまためてみましょう。

現在七名の従業員で伊賀全区を収めております。

傘下に十店の販売店を配してヤマハ全車種の販売にあたっております。「とにかく材木、木炭程度の農村都市で

すから、都会と違って販売も大変ですよ。セールスも昼間買ひそうな家を見つつけて、夜売りにゆくのです。まず家長の親父さん、おふくろさんから口説いてゆかなくては息子さんのオートバイを売りつけるわけにはゆきませんからね」

永信さんは若い時分からこの土地で一軒というオートバイ屋さんで、戦前はトライアンフなど外車を販売し、戦後キャブトンから三十二年頃よりヤマハを売り始めました。この昔からの信用は絶大で以来ヤマハ一本でぐんぐん延びてきたそうです。

この伸長の蔭にはやはり普段のアフターサービスが山間地だけに特に物を言うわけでその点同店の妹婿である山下春光さんの存在が光ることになります。

以前に鉄道の機関士を務めたこともあり生来の技術屋さん、修理も自分の気に入るまで徹夜ですという御仁。

相憎く今日は新発売のYA5型の技術講習にヤマハ本社に出張中でお会い出来ないのが残念でした。

「私も春光も偏屈でしてナ、もう一旦ヤマハに打込んだからにはどんなことがあってもヤマハ一本で通します。川上社長さんの営業方針にも心服しています。これからシーズンに入り、YA5型が発売ですし、大いに頑張りますよ」

と固い決意のほどを示して永信さんのお話がおわります。

「ほんに、よくまあこんな所までお出掛

で、御苦労さまでした」

と奥から出てきた春光さんのお嫁さんの素朴な温かいねざらのお言葉を後に平野高会さんをおいとまします。

さてこれから又引返して四日市へ参りましょう。

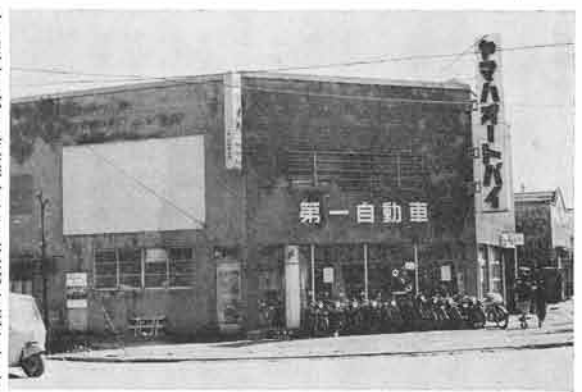
カタコト汽車にゆられて一時間半近くさきほどの静かな山国と正反対に工場林立する四日市はまさに躍進する青年都市です。

三重県の人口が百四十八万五千人この内同市が十九万五千人でトップに立っています。

四日市港を控え交通の便も兼ね備えた同市は近年、大手の石油化学工場が続々と建設され、近くは味の素工場、日本板ガラス工場の建設も急がれ、益々東海の大工業都市としてクローズアップされてきております。

この四日市の国道一号線沿いにある第一自動車さん(四日市市川原町三九)は全国ヤマハディーラーの中でも常に販売のベストテンを占める優秀なお店です。

服部逸男社長さんは相憎くご不在で、代りの方が見えるまで一寸同社の社歴をのぞいてみることにいたしました。昭和二十三年富士オートバイ三重県総代理店、並びにタイハツ販売、三十年十月ヤマハ発売、以来五年有余服部社長の敏腕はいかなく発揮されて現在、伊勢、桑名、津の三カ所に支店を配し、この傘下サブは七十店、本社支店合せて従業員五



十名近くが日夜懸命なる販売を続けております。

二階より大沢営業課長さんが下りてまいりましたので、色々お話を伺ってみましょう。大沢さんはどっしり落着いたお話を預る大番頭の風格があります。

「何しろ社長は忙しくて、月の内二十日位は各支店、サブをハッパかけに飛び廻っております。常に社長が口にする、
「フアイト」モットーとする、正確、迅速」を社長自ら地地でいっている訳です。

朝礼で従業員は社訓をキモに銘じ、一日の仕事が始まります。

ウチの販売主力は本社、支店で月の販売台数の六〇パーセントを占めていますよ」なるほどこれは理想的にいってま

すな。

特に最近従業員の教育に力を入れて年三回は東京から販売促進研究協会の講師を招いて二日間セールスとサービスの教育を行ない社員の質の向上を計り、又社内機構もしっかり作り上げて事務系統の簡素化を図り、社員の厚生施設としては洋弓道場を設けるなど、まことに販売もさることながら社内もしっかり地堅めが出来ております。

ヤマハオール製品で三重県下を一手に収めようというのが社長の狙いです。

この二月から別会社三吉楽器を設立しまして楽器の販売にも乗り出しました。現在、四日市駅前に鉄筋四階建てのビルを建設中です。又ボート、船外機の販売もやります。

大沢さんの言葉の中にも服部社長さんの「フアイト」が眼に見えるようです。

「資金は余っているし、まだまだ二、三支店を出したいのですが、どこかに人材はいませんか——」とまるでヤマハの本社と同じようなことをいっています。やはり事業が延びる時はそういうったものでしょう。いやはや心強い限りです。

もうこれで服部社長さんにお会いしなくても充分会社の状況は判りましたのでこの辺でと腰を上げます、とお店の前へYA5型の新車がトラックで入荷しました。

「又これで一儲けですな」と出口で大沢さんを見やりますと「そんなところです

ナ」とニヤリ、第一自動車さんの一段の飛躍を願いつつ次の岐阜へ足を運びます
 岐阜といえはなんと申しましても長良川の鵜飼が頭に浮かびます。産業としては既製服、陶磁器、木材ぐらいのもの、やはり観光を中心に栄えている都市といえましょう。

この岐阜駅を降りて北東の位置、燦然たる岐阜城をいたたく金華山の麓の自動車街に同地区のディーラーである柳原モーターズ商会さん（岐阜市竜田町一〇の五）があります。仲々間口の広い堂々たるお店です。

来意を告げると直ちに奥の社長室に通されました。



イブの方です。
 柳原社長さんは三十七才、まさにこれからが働き盛り。

ヤマハを初めたのは三十一年で中部地区では名古屋の市川、中部オートさん達と同じ仲間です。

現在従業員が五十名近く、支店は瑞浪・関・大垣の三カ所で傘下サブも八十店と仲々大世帯です。

「岐阜の市場は昨年来コレタさん、の進出が目ざましく、その他ホンダ、ヤマグチさんと有力ディーラーが多いので、ややはやしておられませんか。それに岐阜県は比較的裕福なところですので、軽三、四輪に乗り替える人が多くオートバイ屋がうすい。そこでクラブの育成にも力を入れてユーザーの獲得につとめています」

現在ヤマハユーザーで組織されている岐阜ヤマハクラブの活躍は仲々活発で各地のレースに参加し、特にクラブ員の白木君は浅間、宇都宮と国内の大レースに又各地のモトクロスなどに出場して優秀な成績を収めています。

又近々同地区で毎日新聞社主催で開かれるオートバイラリーにも積極的に協賛してシーズンの訪れと共に販売を狙っております。

昨年から社内販売、整備、総務の三部門を組織的にするべく力を入れてきましたが、本年はなお一層完備したものにしたいと思えます。戦国時代の昔から地形的に重要な「岐阜を制するもの



どんな広告があなたの目に……



「あなたが一番好きな広告」を週刊朝日が本年一月二月の二ヵ月にわたって一般読者から募集しました。その結果一月十三日号に載ったヤマハスクーターの広告がB部門（カラー）で最高点をとりました。

広告はまずなにより目につくもの——という考え方からドギツイ広告をしては見る人に不快感をあたえます。見る人に好かれる広告、美しい広告は読者にその商品に対する親近感、信頼

感をあたえます。そういった意味からも、週刊朝日の企画による、一般読者の自由投票で選ばれたこの賞は意義あるものと思われれます。

ヤマハニュースの読者の方の中にはごらんになった方もあると思いますがピンク系の赤を大胆に使った明るいカラーグラビアのものです。

写真の最高点をとったヤマハの広告と、賞のプロンズ像は「躍進の新春」と題する彫刻家朝倉誓子氏の作品です。

は天下を制す」とばかりこの土地を群雄が争奪を演じ土岐氏、斎藤氏、織田氏などが倒したり倒されたりしたのですがこれは今の世でも変わりません。なんとか倒されないように頑張りますよ。

お店を出て戦国時代の興亡を物語る岐阜城を仰いで、なるほど、なるほど」と一人うなづきながら岐阜駅へ向います。随分、一日中あちこち走り廻りましたネオンの光りが夕暮れの街々に輝き始めてきました。

とにかく最後の訪問先、高山に少しでも近くまで辿りつくのが得策とばかり下呂止りの高山線の列車に乗り込みました。鈍行列車でのんびり山国に入っていきます。

窓の外はチラチラ雪がちらつき始めました。三月も終りというのに底冷えのするのには閉口します。それでもとうとう小一時間も眠りましたか、午後八時三十九分今宵の宿下呂に到着しました。

折からの観光シーズンでどこも一杯、宿探しに苦労しましたがようやくとある旅館の三階の一室に到着しました。

なまぬるい温泉にクシャミ三回、早々に風呂を出て床にもぐり込みます。

階下の大広間では三味に太鼓のドンチャン騒ぎ、これが耳について仲々寝つかれませんでした。騒ぎも次第におさまり、山国の温泉街は静かに静かに更けてゆきます……。

翌朝、夜明けの寒さに眼をさますと眼

前にせまる山々は真白の雪景色。

朝食もそこに汽車に飛びのります約一時間半高山駅に到着しました。

高山市の人口はおよそ五万、飛弾第一の都市です。

まわりに連なる乗鞍、穂高、槍岳の山々が雪をいただき高山盆地を見下しておられます。なるほどたしかに山国だわいの威を改めて深くします。街は小京都といわれるだけに、ひなびた美しさがありこの土地の出身で有名な左甚五郎の血をひいてか彫り物が盛んです。春、夏二回行なわれる高山祭りもそのきらびやかさは全国的にも有名であります。さてこの辺で同地のデラー・叶商会さん（高山市川原町三九）をお尋ねしましょう。

お店は道路をはさんで営業、サービスマチ車部と三軒に分かれ手広くやっております。

御主人の山下叶さん（五十三才）にお会いしました。非常にもの静かな方です。

叶商会さんは昔からの自転車屋さんでヤマハを始めたのは三十一年頃から、現在飛弾地区随一のオートバイ屋さんです。

従業員は十一名で飛弾金山から富山県境に至る広い販売区域を傘下サブ二十五店を配して拡売につとめております。「年中稼げる都会と違ってここは山国ですから一、二、三月は雪で休み三、四、五月の三ヵ月で一年間の半分以上を売上



「まあ、今後もサービスマチには特に力を入られてゆきますよ、故障があれば十里でも十五里でも修理に飛んでゆきます」と柔和な笑顔に似合わずファイトも充分のようです。

こんなお話を聴きしている間も、ヤマハのお客さんが「新車入ったかえ」と賑やかに出入りしております。あまり御商売のお邪魔をしてもわるいと思いいこの辺でおいとますることにしました。

朝方のチラチラ降っていた雪も止んで温かい日射しが街を明るく包んでおりまして。道行く人々も永い間の雪より解放されてか、表情も明るいように見受けられます。

ヤマハモベットの走ってゆきます。都会に、農村に、又この雪深き山国にも、乗る人こそちがえヤマハを愛する心は皆一つでしょう。晴れやかな笑顔で颯爽たる乗りっぷり。そろそろ汽車の時間がきたようです。

では飛弾の皆さん。さようなら、さようなら。

「今までヤマハを飛弾地区へ二十台近く売ったがその内、他車に乗替えたのは十台位のものでしょう。又金の回収も手形はとりません。農家などは掛売りしても毎月お金届けてくれますよ。」

まことに都会では考えられないことですナ。



ヤマハ特約店一覧表

県名	店名	住所	電話	県名	店名	住所	電話	
東京	東京販売所	東京都中央区銀座東7の3銀ビル2 3階	(542)0205-9	富山	(株) 富山岡田部分品店	富山市北新町5	{(2) 4685 {(3) 0071	
	・ ミナトモーター(株)	港区芝西久保広町4	{7395-8 3146		(有) 富山内燃機	富山市清水町2 1 6	(2) 2 0 7 2	
	・ (株) 野村モータース	中央区日本橋小伝馬町3の2	{3559 8875 4383		石川	石川発動機販売(株)	金沢市石浦町5 5	(2) 0075
	・ 蒲田オート販売(株)	大田区馬込西2の2 8	(771)1195-7		福井	片岡モーター商会	福井市八軒町大通	6 4 2 4
	・ 春産業(株)	北多摩郡田無町2 7 4	(771)1195-7		・ (有) 久保田自転車商会	福井市豊島下町5 6	2 9 2 7	
	・ (株) 文京モータース	文京区指ヶ谷町1 4 6	1934田無211 {(921)1488 {(929)0610		・ (有) 島田商会	福井市大手町8	3 7 5	
	・ 池田自動車商工(株)	台東区二長町3 4	{(831) 3795 7435		九州	九州販売所	福岡市大名町8 8 かわこらビル	(74) 8505 (75)4661-5161
	・ 東葉自動車販売(株)	文京区元町2 0 1 9	{7171-7175 560		福岡	(株)小倉ヤマハモータース	小倉市香春口3丁目	(5) 9581
	・ 水谷輪業(株)	台東区仲御徒町1の5 0	{(831) 560 {1286-1290		・ 小倉産業(株)	小倉市大坂町1の8	(5) 4009	
	・ ミツワオート販売(株)	千代田区神田小川町3の8	(291)8972		・ 久留米輪業(株)	久留米市日吉町6 7	3 8 5 4	
神奈川県	江崎自動車販売(株)	横浜市中区長者町4の4 0	(201)9794	・ ヤマハ福岡自動車販売(株)	福岡市長浜町4の2 6 港ビル1階	(75)1461-8		
	・ (有) 田中商会	小田原市山王原5 7 5	(84) 4503	大分	大分トヨベツト商事(株)	大分市中島十条2丁目	(2) 7470	
	(株) フジノ商会	相谷市大字石原1 8 6 3	5 8 6 7	・ 別大車輦(資)	大分市新川電車通り	4 6 7 4		
	所沢小型自動車販売(有)	所沢市大字所沢1 7 7	2 4 2 4	宮崎	金丸商事(株)	宮崎市高千穂通り1の1 1	8 2 0 8	
	千葉チャイアント(株)	千葉市富士見町9 2	3 1 1 2	・ 鹿本(株)	鹿本市塩屋町5 0	(2) 9250		
	関東自動車(株)	鎌倉市垣根町1の2 6 2	8 2 1	鹿児島	鹿児島オート販売(株)	鹿児島市鴨池町8 3 6	(4) 3281	
	(株) 土信田商会	水戸市南町3の4 4 1	2 6 2 0	・ (有) 竹原商会	鹿児島市新町6	(2) 1513 1788		
	日本水実業(株)	日立市助川町1 7 8 1	2 9 0 0	長崎	(株) 総洋自動車部	長崎市新池町0	(2) 8633	
	第一自動車商会	土浦市外西町9 8	(2) 1334	・ (株) 浦上商店	佐世保市本島町2 7	5 0 0 6		
	荒井オート販売(株)	前橋市石川町3 3	1 9 6 8	・ (資) 高崎英雄商会	佐世保市本島町1 8 1	7 6 9		
埼玉県	(株) 井田商会	桐生市柳町9 9 9-1	3270-3268	・ 玄松本オート商会	鎌早市八天町	7 2 7		
	高崎輪業(株)	高崎市高砂町1 3 7	3 8 9 7	・ 玄海モーターズ	老姥郡郷之浦新道	1 7 9		
	(有) 久保田モータース	高崎市山田町1 1 9	9659-5770	(株) 松浦商会	唐津市大名小路3 0 8 の1 4	3 9 8 7		
	豊田自動車販売(株)	足利市通6の3 2 2 3	5960-2363	・ 新日本モーターズ	佐賀市中ノ小路8 5	6 2 5 2		
	(株) 若色商会	栃木市本町1 4 2 1	6 5 2 2	山口	佐々木モーターズ(株)	宇部市高砂町2の2	(2)8000-5004	
	栃木チャイアント自動車(株)	宇都宮市一条町1 1 8 1	(栃木) 1133	北海道	北海道販売所	札幌市南三条西4の1 2	{() 7952 {(4) 9221	
	大生自動車販売(株)	栃木市日ノ出町1 6 2 5	5892-4872	・ 北海道ヤマハモータース(株)	札幌市南1条東1丁目	{() 8810		
	信州自動車(株)	長野市南横町6 8 5-4	1 2 8 2	北見	北見営業所	北見市1条西3丁目	4 3 5 1	
	飯田モーター(株)	飯田市大字上飯田5 4 5 2	(2) 7120	北海道ヤマハモータース(株)	帯広市西2条南3丁目	2 4 3 8		
	(株) 高橋商店	飯田市本町3丁目	1 6 0 1-4	・ 鋼鉄営業所	釧路市栄町6丁目1	6 9 5 8		
大阪府	(株) 高橋商店	長岡市本町2丁目	4 1 2 1-3	・ 金子自動車販売(株)	札幌市北1条東2丁目	(4) 3231		
	山梨オート販売(株)	新潟市本町2丁目	3400-2	・ エビナモーターズ(株)	旭川市2条通り6丁目	8 5 6 3		
	山梨オート販売(株)	甲府市大字前通4	7355-8255	(株) 西条モーター商会	札幌市東1条8丁目	2 3 6 4		
	山梨オート販売(株)	甲府市下切町1 8 1	8 2 8 2	(株) 伊東自動車商会	室蘭市大町9 3	4 6 9 2		
	山梨オート販売(株)	山梨市大町9 3	(株) 谷口モーター商会	函館市高砂町1	(3) 7 9 3			
	大阪販売所	大阪市西区北堀江通り4の2 7	(54)4331(代)	仙台	仙台販売所	仙台市大町4の1 8 2	{(5) 0393 {(2) 5177-8	
	(株) 大丸商店	大阪市東区谷町1の2 3	(94) 3004 5777	宮城	宮城ヤマハ自動車(株)	仙台市花京院通5 7	専用8 4 {(2) 2233-4 {(3) 1455	
	(株) 七福商会	吹田市田中町2 6 8 8	(38) 2885 0984	・ (株) 横山商会	仙台市青葉区	1 1 4 5		
	(株) 高木商会	布施市衣摺町1 2 0 3	(72) 4991 0121	(株) 横山商会	仙台市青葉区	(2) 2201-3		
	(株) 榎本モータース	大阪市浪速区下町3の2 6	(63)4625-6	・ (株) 平自動車工業(株)	仙台市青葉区	(平) 3811-2		
岡田オート販売(株)	大阪市阿部野区阿部野筋8の7 6	(65)0551-3	(株) 大内モーター商会	福島市大平寺通8	(2) 6 0 6 0			
(株) 安川商会	大阪市西区立売堀上通り3の1 5 4	(54) 2488	ニューアサヒモーターズ(株)	郡山市原田町3 8	(2) 0434-3678			
(株) 平和モータース	京都市中京区御通船場屋上	(22)7507-8	(株) 青野サハモーターズ	盛岡市十三日町1 9 0	(2) 7168			
大洋自動車(株)	京都市下京区河原町松原下	(35) 4946	(株) 八戸オートセンター	八戸市大字十一日町1 9	(2) 0426			
京都中央自動車(株)	左京区九太町通川端東入2丁目東丸町19	(7) 6046	(株) 工業商会	弘前市土手町2 0 5	(2) 4684-0426			
新興自動車(株)	京都市中京区河原町松原下	6 0 3 2	(有) 青森オート商会	青森市浦町字橋本1 5 0	6 8 0			
不二自動車(株)	八日市市金屋町5 4 0	3 7 3	後藤商会	山形市香澄町大室寺6 7 6	8844-2835			
和歌山	ヤマハ和歌山自動車(株)	和歌山市有本1 4	(2) 5449 8628	(株) 山一商事	鶴岡市三日町1 1 2	754 2718		
奈良	(株) 高田清光社	大和町高田大道2丁目	(045)3301-3	田原一商会	秋田市八日町4の2	2768-3241		
兵庫	(株) 三友商会	奈良市大安寺町国道筋	6395-3380	(有) 石橋モーターズ	大崎市柳町1 1	5		
(株) 丸八モータース	神戸市兵庫区大開通り6の1 0	(6) 3384	(株) 古井商店	秋田市長野町4の2 0	7-3			
(株) 桜井商店	神戸市東灘区住吉町道の下1 4 6 2	(8) 1720	・ 田利モーター	本荘市谷地町6 8				
岡山	(株) 藤井商店	姫路市本町1 2	1 0 3 3	本社営業課				
島根	(株) 吉村商店	岡山市野田字東浦8 7 の1	(2) 884-9682	静岡	(株) 美和商会	静岡市鷹匠町2の7	(2) 8923	
広島	古鬼モータース	松江市本町町1 4 2 1	4668-6070	・ 竹沢商店	沼津市本通り2 5	2 9 6 1		
高知	ヤマハ中国自動車(株)	広島市鉄砲屋町3 0	(2) 5836	(株) 丸岡商会	浜松市八幡町6 8 3	{(2) 1592 {(3) 0584 {(3) 2810 {(3) 0713		
愛媛	(株) 上田商会	松山市千舟町6 9	(2) 3257	(株) 大豊自動車商会	浜松市田町3 8	(2) 3207		
徳島	田産自動車工業(株)	今治市富島通3丁目	2 4 5 2	(株) 今盛商会	浜松市常盤町3 8			
香川	常盤自動車(株)	高松市観光通1丁目	(3) 7141-3	中古車特約店				
徳島	(有) 浅野商会	徳島市新町橋通2の4	5710-9705	大阪	ヤマハサービスタ(株)中古車部	大阪市西区北堀江通り4の2 7	568454-8475	
徳島	森本商会(株)	徳島市大道1丁目	5525-6	名古屋	ヤマハ中古車部	名古屋市中区東陽町5の6	(24) 8716	
徳島	(有) 白川商店	徳島市東大町2丁目	8 4 4 6	部品特約店				
名古屋	名古屋販売所	名古屋市中村区被島町1の1	(55)9400	東京	岡田オートパーツ販売(株)	東京都港区芝浜松町2の3	(501)7834-5	
愛知	(株) 市川厚生社	名古屋市中村区花車町1の5 5	9409-9721	・ (有) 東京単車部品(株)	東京都台東区御徒町1の8	(431)6185-9		
(有) 中部オート	名古屋市中村区西沢町2 3	(54) 1007 4266	(24) 3458	大阪	ヤマハサービスタ(株)部品部	大阪市西区北堀江通り4の2 7	(831) 8111	
(株) 鶴岡モータース	名古屋市中区岩井通り3の2 1	(32)0247-8	0371	名古屋	栄瀬自動車(株)名古屋支店	名古屋市中区九田町1の5	(54)8454-8475	
(有) 島本商会	名古屋市中区米田町1 5	(55) 6617	2 3 1 6	九州	宮川商会(株)九州営業所	福岡市小山西町2の2	042531-5369	
(株) ソリヤ商会	一宮市本町1の1	2 3 1 6	2337-8541	北海道	岡田オートパーツ販売(株)	札幌市南1条西7丁目	(2) 6166-7	
井口オート	豊橋市新吉町2 2	{4522 4524	(32) 4522	仙台	岡田オートパーツ販売(株)	仙台市鉄砲町2	(3) 8233	
東洋自転車(株)	名古屋市中区古渡町6の4 9	(2) 2824	8 1 4	浜松	岡田オートパーツ販売(株)	浜松市馬込町6 3	(3) 3891	
岐阜	(株) 柳原モータース商会	岐阜市龍田町1の5	8 1 4	九州	浜松自動車(株)福岡支店	福岡市若尾新川町3 5 の1 平	(5) 1635-8	
(有) 叶商会	高山市川原町3 9	6614-4374	3 3 7	富山	(株) 富山岡田部分品店	富山市北新町5	{(2) 4685 {(3) 0071	
三重	(株) 第一自動車	四日市市川原町2 7 2 9 の3						
平野商会	伊賀上野市東町2 9 4 0 の1							

年	月	日	禮拜	節日	節日	節日	節日	節日	節日
1911	8	1	禮拜一	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	2	禮拜二	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	3	禮拜三	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	4	禮拜四	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	5	禮拜五	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	6	禮拜六	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	7	禮拜日	休息	休息	休息	休息	休息	休息
1911	8	8	禮拜一	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	9	禮拜二	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	10	禮拜三	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	11	禮拜四	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	12	禮拜五	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	13	禮拜六	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	14	禮拜日	休息	休息	休息	休息	休息	休息
1911	8	15	禮拜一	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	16	禮拜二	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	17	禮拜三	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	18	禮拜四	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	19	禮拜五	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	20	禮拜六	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	21	禮拜日	休息	休息	休息	休息	休息	休息
1911	8	22	禮拜一	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	23	禮拜二	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	24	禮拜三	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	25	禮拜四	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	26	禮拜五	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	27	禮拜六	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	28	禮拜日	休息	休息	休息	休息	休息	休息
1911	8	29	禮拜一	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	30	禮拜二	開工	開工	開工	開工	開工	開工
1911	8	31	禮拜三	開工	開工	開工	開工	開工	開工



〉 あと が き く

涼しさとスピードを、もとめる季節になりますます商戦もたけなわなことと思います。YA-5の全貌、宮本氏の欧州の二輪車の話題を掲載いたしました。是非およみください。暑さに向う折柄、御健闘を祈って居ります。

ヤマハニュース 第7号
昭和36年7月15日発行

編集発行人 溝 渕 忠 次
発 行 人 ヤマハ発動機株式会社
浜松市外浜北町中条
印 刷 所 株式会社恒陽社印刷所

ご投稿歓迎

ヤマハニュースは皆様のものです。皆が日頃あれこれと考えられることをちょっとメモしてお送り下さい。

1. ヤマハ号の活躍を伝えるニュース。
2. 新しいお店、人気あるセールス・マン、サービス・マンの紹介。
3. ユーザーの紹介
4. 販売店主の販売並びにサービスに関するご意見。
5. 各地の郷土色ゆたかな写真。

(ヤマハニュース採用分には薄謝を贈呈します。)

宛名 浜松市外浜北町中条
ヤマハ発動機株式会社
ヤマハニュース編集部気付



ヤマハ発動機株式会社